



●親睦活動委員会 大島 勝彦副委員長 ニコニコBOX投入のお知らせ
森秀樹会員・関本宏会員……母校函館工業高校電気新卒生に当クラブ職業奉仕の皆様に励まし・激励等の講演を戴き厚く御礼申し上げます。
大島勝彦会員・中川州平会員……ニコニコBOX投入に御協力を

●幹事報告 西巻 秀樹会員
他クラブ例会場の変更
2月2日の五稜郭クラブは2月3日に変更になりました。6時より湯川の龍吟寺でビジター料5千円です。

●職業奉仕委員会 関本 宏委員長
12月16日に函館工業高校におきまして、今年度卒業の生徒に対し職業案内を兼ねた講演を行いました。講師の方々は、当クラブの岩井邦雄会員、上野智会員、清水幹夫会員、青柳喜一会員でございました。学校側から大変喜ばれまして、今後よろしくという事でございました。

●卓話 “ハーバーのことども” 深瀬 鴻一郎会員
今から105年前、明治7年8月11日函館駐在の、ドイツ副領事ルードハーバー氏が、暴漢の為暗殺されるという事件がおきました。32才で体は小柄でしたが、眉目秀麗な方でした。独身の為か縁者がよく来ておりましたが、当時は前任地アメリカで、マラリヤにかかった為、函館に来てからも、少しの間、静養しておりましたが、体調が良いので散歩に出かけた時の出来事だったので。まだ鎖国の名残を残している人間が、外国人は自国の文化を押しつぶしてしまう。と、いう理由で忌みきらっておりましたが、ハーバー氏が函館公園の近くを通りかかった為に、運命的な出来事にぶつかった訳です。
その殺され方も、刀で体は24ヶ所もめった切りでしたので、精神異常者の仕業という事で、犯人の打首斬罪という事で、大きな国際問題まで発展しないで解決したのです。それ以後も、ドイツと日本の間では、友好的なむすびつきが続いていったのです。

●出席報告

会員数	73名	出	函館北(1/24)	97.22%
出席	47名		函館東(1/9)	97.85%
欠席	26名	席	函館(1/11)	85.28%
他クラブ出席	23名		函館五稜郭(1/12)	100.00%
出席合計	70名	率	亀田(1/8)	81.58%
出席除外者	1名			

次回例会日 2月14日

プログラム “水産加工団地について” 野村 宜市会員

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌフ)

第736回例会

1978 1979 第32号 1979・2・14



深瀬 鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

“水産加工団地について” 野村 宜市会員

第735回例会記録

- 司会 高杉 重雄会長
- 斉唱 君が代・奉仕の理想
- ビジター 札幌R.C. 稲石 洋三君 (日本鉄道建設公団札幌支社長)
- 函館R.C. 相馬 哲平君外3名 函館東R.C. 吉村 昭二君外1名 五稜郭R.C. 山内 陽平君外1名 亀田R.C. 田中 仁君

★西川吉博君 新会員として北条澄雄君が紹介

御紹介頂きました西川です。伝統と名誉ある当北 R.C. に入会させて頂きありがとうございます。小樽生まれの小樽育ちで、中学・高校迄小樽より外へ出たことがありません。社会人になり函館に住むようになり、知人は歯科医が符合いの範囲で、当クラブ入会は私にとり友人が増えることに大きな期待と喜びを持っております。若輩者ですが宜敷くお願い申し上げます。

◎幹事報告 西巻 秀樹幹事

1. 2月23日5クラブ合同夜間例会の出欠をとっております。事務局へ御連絡下さい。
2. 新しい手続要覧が来ております。1部600円にて、申込を受け付けます。
3. 2月12日亀田 R.C. 例会は、祭日休会です。
4. 毎月の財団基金箱を廻します。宜敷くお願い致します。
5. 本日入会の西川会員は、親睦委員会に所属願います。
6. 例会終了後理事会を開きます。

◎親睦活動委員会 大島 勝彦副委員長

ニコニコBOX投入のお知らせ

田中・安藤・沢村会員…ホームクラブ欠席がちのお詫び
北条会員…新会員西川君を当クラブに紹介しました。宜敷くお願い致します。
小笠原会員…2月10日AM11時より、事務所を開設することになりました。宜敷くお願い致します。

◎新会員紹介

にし かわ よし ひろ
西 川 吉 博 君



生年月日 昭和16年10月18日生
自宅住所 上磯郡上磯町字東浜町 343 の10
自宅電話 01387-3-7151
勤務先 西川歯科医院 院長
勤務先住所 上磯郡上磯町字東浜町44
勤務先電話 01387-3-3253

学歴 昭和42年3月 東京歯科大学卒
趣味 ゴルフ・麻雀
結婚記念日 昭和47年1月15日
家族 西川 博二(父) T 3. 9.17 石川県立金沢商業学校卒
西川 タマ子(母) T 9. 3.31 函館大谷女子高等学校卒

光 江(妻) S24. 3.16 日本大学女子短大卒
晃 子(長女) S50.11. 4
香 子(次女) S53. 7.29

◎卓話 “私の履歴書” 外山 定男会員

私の生活のなかで何を御話して良いやら一寸閉口いたしますが、先ずロータリークラブに私が初めて出会いました時の事を申し上げます。実は昭和6年の10月にシベリアを通過してイギリスへ参りました。そしてロンドンでその冬を過ごし、それから牛津に三月ほど過してハルという町に参りました。ロンドンから一時間あまり北へ行ってハンバー河を少し下った所にある人口30万位の都であります。そこの大学に慶応で教わりましたシェラード・ヴァインズという先生が居られましたので、そこの大学へ入れてもらったのであります。現在のハル大学はもうかなり成長した大学であります。其頃まだ出来たばかりでありまして英文科の学生も少なく、まあこの教室の学生達と一緒にやりたまえと言って入れられた3年のクラスには女が5人、男が1人でした。その男の学生は Philipon と言って非常に小さい男でしたが、私が入った事を非常に喜んでくれました。所でこの大学へ入って非常に変わった事というのは、その教授の部屋に一週間一ぺんだけ授業を受けに行き、小さな本でしたけれど二人だけで読むということでした。初めは先生がどの位の早さで読むのかわからず、自分は自分の早さで読むのだから気が気でなかったのであります。先生がときどき本を読むのをやめて、ここのところだかと言われるとそれが何頁だかわからないので、あわててそのところをさがすという様なありさまで、この二人っきりで読むということも3回か4回目頃からやっと先生の速度もわかり、授業も面白味が出て来たのであります。

私が日本へ帰ることになったのは昭和9年の3月頃でありましたが、ロンドンの友達から手紙をもらいました。開いて見ると「北海道函館市に大風のなかに火災が起り、消防の力及ばず、全市は猛火にゆだねられつつある由」と書いてあった。小さな新聞の切抜きです。火事という事では其頃の函館の人間は大して驚かないんです。何百とか何千とか焼けたというなら又続報が出るだろうと思いました。ところが明けて3月23日の朝、コンモンルームで何気なしに新聞をひろげていると「さながらの生地獄、居を失える市民等猛火にまかれつつ逃げまどう」という大きな見出しが眼に入ったのです。どきんとして見直すと「ハコダテ大火の続報。往年の帝都大震災以来の惨事」と書いてあります。これにはびっくり致しました。泳ぐようにして活字の上を動きまわると「大颯風のため鎮火全く不能となり全市の大半は焦土と化して音信不通の為詳細の報道は得がたきも、死者夥しく数千にのぼる見込」というのです。之には驚きました。今という今まで予想もしなかった出来事が起きたのです。私の家は其頃松

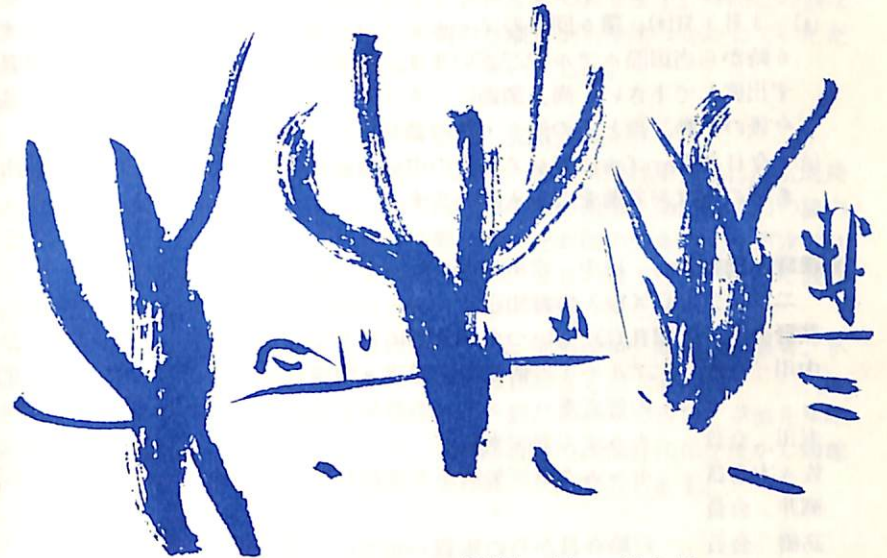


REACH OUT...
手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌーフ)

第737回例会

1978-1979 第33号 1979・2・23



深瀬 鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

合同夜間例会

第736回例会記録

- ◎司会 高杉重雄会長 ◎斉唱 それでこそロータリー
◎ビジター 東京石川R.C. 早川政名君 函館R.C. 小林明君他12名
函館東R.C. 森岡勝君他3名 五稜郭R.C. 斎藤東栄君他3名

風町でしたから恐らく焼けているに違いない。老いた父、子供を生んだばかりの妹はどうだろう、友達たちは電報を打てよと言ってくれるのですが、どうも今打っても訳が果してわかるだろうかという気がするのです。ところが翌24日の新聞を見ると更にひどい記事がのっているのです。其頃の大学の新聞室にはロンドンタイムズ、マンチェスターガーディアン、デーリイツクスプレス、ニューズクロニクル等の新聞が入って居りましたが、どの新聞にも世界に類のない火事だと報道しています。特にマンチェスターガーディアン紙は其論説に取上げて「日本は西洋文化を素早く取入れ、驚嘆に値する進歩を見せたと言われるが今回の惨事によって之を見るに、家屋建築に於ては未だ旧風を脱し得ぬと思われる。もしも日本が真に西洋文明を取入れようと思うならば、たんに一部分の模倣を試みるに止らず、其全般にわたっての模倣を試むべきである。建築の如きはその最も重要な一部門であって、今回の如き惨事は世界文明地域より永遠に其姿を没せしむべきである。日本人は多いに反省すべきである」と書き立てた。随分癪にもさわりませんが、実際にも傾聴すべき点もありますので、学生達によって来て「日本の家は木と紙とで出来ている。て言うのは本当か」と聞かれてもすぐノーだとは言いかねる様子でありました。其当時はまだ飛行機による交通というものはまだなかった時代でありますから、新聞は大体2週間もしなければ到着しません。そこで当々24日に電報を打ちました。「ブジカ」この返事の来るのは恐らく27日か28日だろう。私は27日にハルを立ち、牛津へ参りました。そして約1週間程そこで過したのですが、仲々電報は来ず明日出発だという4月の初め、元の下宿の家へ行くと電報はついて居たのです。開いて見ると「ヤケタイチゾクブジ」と示されておりました。まあ其通り信じて良いかどうかはわかりませんが、とにかく話す相手は居るわけで漸くほっとして、4月12日夜にフランス船シャンブラン号に乗って、ニューヨークに着き、1週間後に出発して、5月10日頃横浜に着いたのでした。

◎出席報告

会 員 数	73名	出 席 率	函 館 北 (1/31)	97.22%
出 席	53名		函 館 東 (1/16)	97.85%
欠 席	20名		函 館 (1/18)	86.96%
他クラブ出席	17名		函館五稜郭 (1/19)	100.00%
出席合計	70名		電 田 (1/15)	休 会
出席除外者	1名			

次回例会日 2月23日

プログラム 合同夜間例会